

# ほんがいっぱい



## よんでみよう!

### 3・4年生のための本

#### ①『黒ネコジェニーのおはなし1 ジェニーとキャットクラブ』

エスター・アペリル／作・絵 まつおか きょうこ はりかえ けいこ きょうやく ふくいんかんしょてん  
松岡 享子・張替 恵子／共訳 福音館書店 《Fア》

小さな黒ネコのジェニーは、とてもはにかみやさん。ある晩、ジェニーはふたごのネコたちに「ぼくたちのキャット・クラブに、はいらない？」とさそわれました。ところが、ゆうきのでないジェニーは、にげだしてしまいます。



とくましよてん 徳間書店 《Fブ》

#### ②『のら犬ホットドッグ大かつやく』

シャーロット・ブレイ／作 オスターグレン 晴子／訳 むかい ながまさ／絵

シッセが気になるホットドッグみたいにとろろの犬。ある日この犬が学校の帰りに家までついてきました。シッセは、かいぬしがみつかるまであずかれるようお父さんとお母さんにおねがいしようと思いました。ところが、犬が花だんをほりかえし、家の中をちらかすので…。



ところざわしりつところざわとしょかん ねん  
所沢市立所沢図書館 2012年

#### ③『小さな小さな七つのおはなし』

《Fム》

リリアン・ムーア／作 福本 友美子／訳 たかくわ こうじ え にほんひょうじゆん  
高桑 幸次／絵 日本標準

フクロウの子ホーホのおじいちゃんは、森のどうぶつたちのそうだんあいてをしています。「おじいちゃんは、どうしてなんでもわかるんだろう？まほうのめがねをかけているからかな？」そうおもったホーホは、おじいちゃんのめがねをこっそりかけてみました。すると…。



#### ④『とうふ屋さんの話 ねこじゃらしの野原』

あわ なおこ さく きくち きょうこ え こうだんしゃ  
安房 直子／作 菊池 恭子／絵 講談社 《Fア》

谷あいの町のとうふ屋さんの店に、あるときまちがい電話がかかってくるようになりました。このあたりに「ねこじゃらしとうふ店」ができたようです。とうふ屋さんがその店をさがしにいくと、茶色いねこがラッパを鳴らし自転車に乗ってやってきました。それは3年前に家出したとうふ屋さんのねこで…。



#### ⑤『ぬい針だんなどまち針おくさん』

とどし えつこ さく ちょう しんた ふくいんかんしょてん  
土橋 悦子／さく 長 新太／え 福音館書店 《Fド》

ぬい針のだんなど、まち針のおくさん。ふたりはいつもいっしょ。ところがある日、だんなが足をすべらせ、下におちてしまい、つぎの日になっても帰ってきません。おくさんは、しんぱいになってだんなをさがしに行くことにしました。



⑥『<sup>あめ</sup>雨をよぶ<sup>りゅう</sup>龍 4年<sup>ねん</sup>にいちどの雨<sup>あま</sup>ごい行事<sup>ぎょうじ</sup>』

秋山<sup>あきやま</sup> とも子<sup>こ</sup>／文<sup>ぶん</sup>・絵<sup>え</sup> 童心社<sup>どうしんしゃ</sup> 《Eア》

埼玉県鶴ヶ島市では4年にいちど、まじゅうのひとがあつまって“龍”をつくりま  
す。わらとたけでできた、ながさ36メー  
トル、おもさ3000キロのおおきな龍です。300  
にんでかつぎ、いけまではこんで「どうか雨が  
ふりますように」とおいのりします。

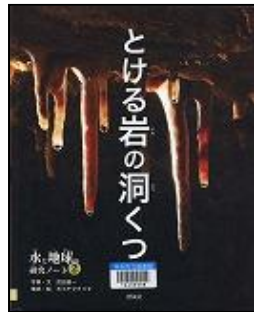


つぎの雨ごいは2012年8月5日(日)です。

⑦『<sup>みず</sup>水と<sup>ちきゅう</sup>地球の<sup>けんきゅう</sup>研究ノート2 <sup>いわ</sup>とける<sup>どう</sup>岩の<sup>ほら</sup>洞くつ』

武田<sup>たけだ</sup> 晋一<sup>しんいち</sup>／<sup>しゃしん</sup>写真<sup>ぶん</sup>・文<sup>ぶん</sup> ボコヤマ<sup>ぼこやま</sup> クリタ<sup>くりた</sup>／<sup>こうせい</sup>構成<sup>え</sup>・絵<sup>え</sup> 借成社<sup>かせいしゃ</sup> 《45》

真っ暗な洞くつを進んでいくと、つららの  
ようにたれ下がった岩が…。かたい岩がとけ  
ている!?よく見てみると岩の先から、水の  
しずくが落ちていぞ。この水が岩をとかし  
たのかな?さあ、きみもふしぎな地下の世界  
をのぞいてみないか!



⑧『<sup>ゴハ</sup>ゴハおじさんの<sup>ゆかいな</sup>ゆかいなお話<sup>はなし</sup> エジプトの<sup>みんわ</sup>民話』 《M》

デニス・ジョンソン・デイヴィーズ／<sup>さいわ</sup>再話<sup>い</sup> ハグー・ハムディ・モハンメッド・ファ  
トゥーフとハーニ・エル・サイド・アハマド／<sup>え</sup>絵<sup>ち</sup> 千葉<sup>ちば</sup> 茂樹<sup>しげき</sup>／<sup>やく</sup>訳<sup>とく</sup> 徳間書店<sup>とくましやてん</sup>

ある日、ゴハおじさんの家に、昼ごはんは  
まねかれたと友だちがたくさんおしかけてき  
ました。そんなおぼえはないゴハおじさんは  
こまっしてしまいましたが、からかわれたとわ  
かると、げんかんにある友だちのくつをみん  
な売ってしまいました!そして…。



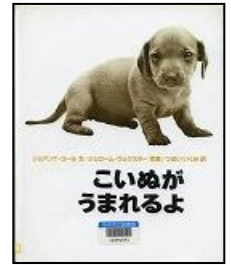
このほかにも、ゆかいなお話がいっぱい!

⑨『こいぬがうまれるよ』

福音館書店 《64》

ジョアンナ・コール／<sup>ぶん</sup>文<sup>ぶん</sup> ジェローム・ウェクスラー／<sup>しゃしん</sup>写真<sup>やく</sup> つばい<sup>やく</sup> いくみ／<sup>やく</sup>訳

こいぬがうまれるところ、みたことある?  
おとなりのいぬにあかちゃんがうまれるの。  
いっぴきわたしがもらうんだ!うまれたばかり  
のこいぬはめがみえないし、みみもきこえ  
ないんだって!はやくいっしょにあそびたい!



⑩『<sup>あやかし</sup>アヤカシ<sup>やく</sup>薬局<sup>へいてん</sup>閉店セ〜ル』 ⑪『<sup>ちい</sup>小さな<sup>おばさん</sup>スプーンおばさん』

伊藤<sup>いとう</sup> 充子<sup>みちこ</sup>／<sup>さく</sup>作<sup>え</sup> いづの<sup>いづの</sup> かじ<sup>かじ</sup>／<sup>え</sup>絵<sup>え</sup> 借成社<sup>かせいしゃ</sup> 《Fイ》

アルフ＝プリヨイセン／<sup>さく</sup>作<sup>おおつか</sup> 大塚<sup>おおつか</sup> 勇三<sup>ゆうぞう</sup>／<sup>やく</sup>訳<sup>がくしゅうけんきゅうしゃ</sup> 学習研究社<sup>がくしゅうけんきゅうしゃ</sup> 《Fプ》

さくらさんの薬局にはふしぎ  
なお客がやってきました。節分の日  
には青オニが、風のつよい日には?

朝おきたら体がスプーンくらい  
に小さくなっていた!でもおばさ  
んはあわてず知恵をしぼって…。

⑫『<sup>くろ</sup>黒い<sup>ひめ</sup>お姫さま<sup>むかしはなし</sup>ドイツの昔話』 ⑬『<sup>はんが</sup>版画のはらうた』

ガールム・ブツ／<sup>さいわ</sup>採話<sup>う</sup> 上田<sup>うえだ</sup> 真而子<sup>まにこ</sup>／<sup>へん</sup>編<sup>やく</sup>・訳<sup>やく</sup> 佐々木<sup>ささき</sup> マキ／<sup>え</sup>絵<sup>え</sup> 福音館書店 《M》

くどう<sup>くどう</sup> なおこ<sup>なおこ</sup>／<sup>し</sup>詩<sup>ほてはま</sup> ほてはま<sup>たか</sup> たか  
し<sup>が</sup>／<sup>え</sup>画<sup>どうわや</sup> 童話屋<sup>どうわや</sup> 《91.1》

呪われたお姫さまの死体は、炭  
のようにまっ黒になった。そして、  
お棺から抜け出し番人を…。

かまきりりゅうじにありんこた  
くじ、こりすすみえ…。みんなす  
てきな詩をうたっています。

⑭『<sup>ふしぎ</sup>ふしぎな<sup>やどや</sup>やどや』 ⑮『<sup>あ</sup>やあ!出会えたね5 <sup>ちゅう</sup>フン虫』

はせがわ<sup>はせがわ</sup> せつこ<sup>せつこ</sup>／<sup>ぶん</sup>文<sup>い</sup> のうえ<sup>のうえ</sup> よう  
すけ<sup>が</sup>／<sup>え</sup>画<sup>ふくいんかんしよてん</sup> 福音館書店 《M》

今森<sup>いまもり</sup> 光彦<sup>みつひこ</sup>／<sup>ぶん</sup>文<sup>しゃしん</sup>・写真<sup>アリス</sup> アリス<sup>かん</sup> 館  
《48》

やどのおかみさんがつくったソ  
バもちをたべた客はみなろばに  
なってしまう。それをみた趙は…。

フン虫は動物のうんちでボー  
ルをつくり、卵のベッドにしま  
す。卵から幼虫がかえると…。